



第5章 リーディングプロジェクト

まちの将来像の効率的な実現と関連する取組への波及的な効果を目指して
リーディングプロジェクトを設定します。

第5章 リーディングプロジェクト

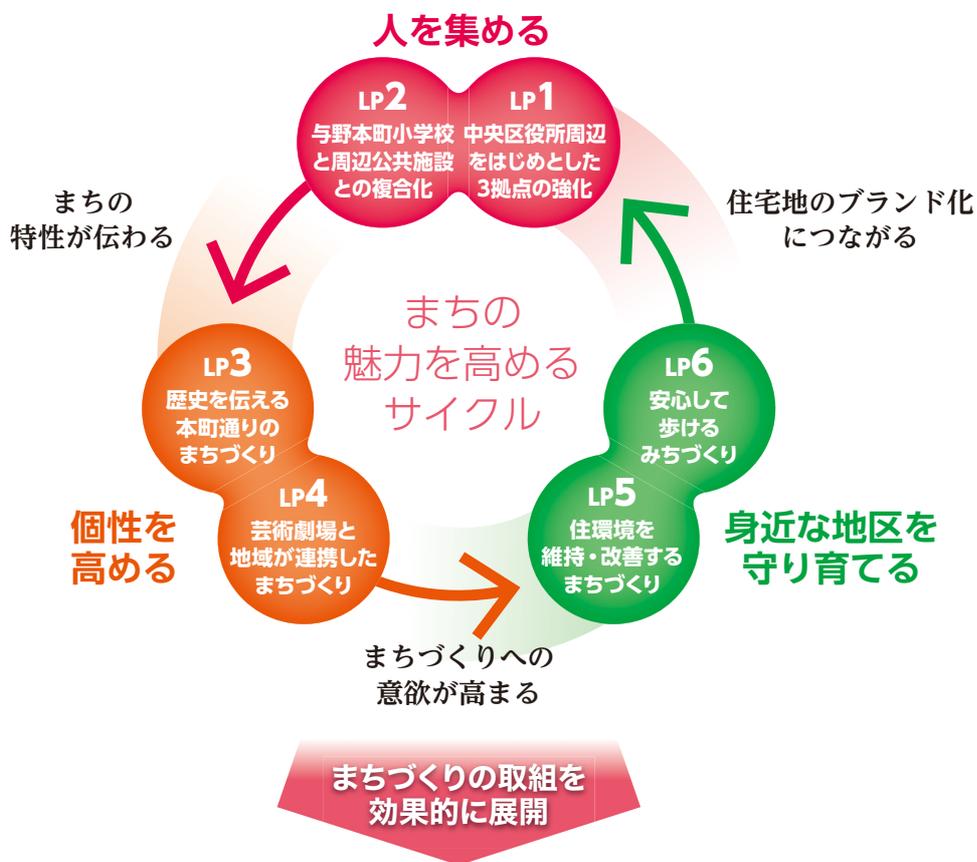
1 リーディングプロジェクトの考え方

リーディングプロジェクト（LP）とは、まちの将来像の効果的な実現を目的にまちづくりの取組をパッケージ化したものです。

以下の図に示すとおり6つのリーディングプロジェクトを設定し、地域住民とともに先導的に施策を展開していきます。

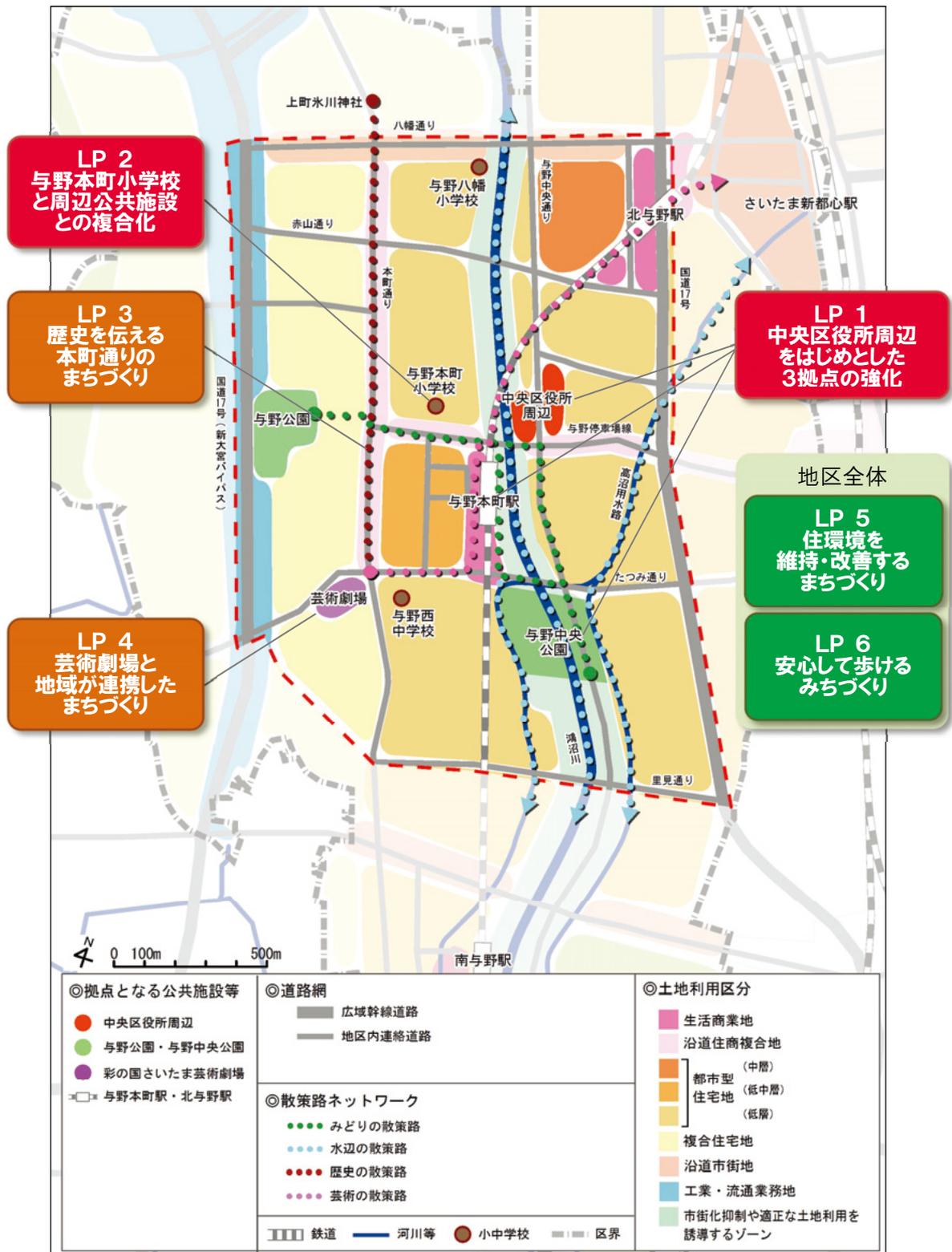
6つのプロジェクトを一体的に推進することで、拠点の強化等を行い地区内外から人を集め、歴史や文化等を大切に伝えながら本町通りや芸術劇場を生かしたまちづくりを進め、まちの個性を高めていきます。また、住民のまちへの愛着やまちづくりへの参加意欲を高め、安心やゆとりを感じられるみちや住環境づくり等から身近な地区を守り育てていきます。

その結果、まちの魅力が向上し、住宅地としてのブランド化につながる好循環が生まれ、さらにプロジェクトの推進がその他の取組に波及して、地区全体のまちづくりをけん引していくという効果も期待できます。



地域の資源とふれあい、多様な世代が集い・暮らす魅力的なまち

■リーディングプロジェクトの位置関係



2 リーディングプロジェクトの内容

リーディングプロジェクト1 中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化

このプロジェクトが目指すこと

中央区役所周辺（中心拠点）、与野中央公園（地区拠点）、与野本町駅周辺（交通拠点）のプロジェクトを連動させながら推進することにより、これら3つの拠点機能を相互に連携・強化し、地区内外の人々が集まる一体的な拠点づくりを目指します。

プロジェクトを推進するために

- ・“リーディングプロジェクト1”では、一体的な拠点づくりに向け、3つのプロジェクトを設定します。
- ・当地区の中心地にふさわしい景観形成を図るため、3つの拠点やその拠点をつなぐみち等にはトータルデザインを導入します。
- ・各施設の整備に当たっては、ユニバーサルデザインや環境負荷の低減に配慮します。

◆一体的な拠点づくりに向けた3つのプロジェクト

- プロジェクト①：中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル
- プロジェクト②：与野中央公園整備によるみどり拠点の強化
- プロジェクト③：与野本町駅周辺の利便性の向上

◆各拠点に求められる機能



プロジェクト① 中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル

中央区役所周辺は与野本町駅からの徒歩圏に位置し、多くの公共施設が集積しています。これらの公共施設の多くは老朽化が懸念され、施設を更新する時期が近づいています。

そのため、民間活力の導入を視野に入れた複合化・再配置を検討し、施設の安全性や公共サービスの質を高めるとともに、駅周辺と鴻沼川の水辺空間を一体的にリニューアルして、地域住民が交流する場の創出を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 公共施設の複合化とサービスの充実

- ・中央区役所周辺にある公共施設の複合化を検討します。
- ・駅を利用する通勤・通学者を対象とした公共施設のサービスを充実させます。
- ・多世代交流が進むような環境を充実させます。

<施策例>

各施設で重複する機能の統合、施設管理運営の一元化や効率化、
図書館の利用時間の拡大と蔵書数の増加、子育てや福祉系施設機能の併設、
ミーティング・交流スペースの設置 等

◆ 公共施設の再配置

- ・公共施設の複合化を踏まえて施設を再配置します。
- ・防災中核拠点として施設の防災機能を強化します。

<施策例>

公共施設の配置の検討、行政機能の集約、鴻沼川沿いのオープンスペースの創出、
雨水流出抑制施設の整備、浸水を考慮した公共施設のフロア構成の検討、
耐震構造や免震構造・軟弱地盤を考慮した建築設計の検討、中央消防署の機能強化、
公共施設の移転跡地や複合化施設の公的不動産としての有効活用、
駅利用者向けの駐輪場の整備、PPP手法など民間活力の導入検討 等

◆ 地域参画による公共サービスの運営

- ・地域住民や民間事業者による公共サービス等の一部運営を目指します。

<施策例>

地域住民による公民館等の維持管理、地域住民が主体となったイベントの開催、
子育てや福祉系施設の民営化、民間事業者による店舗等の配置 等

(2) 各主体の役割

【市の役割】

- ・ 公共施設の再編に関する基本的な方針の策定
- ・ 民間活力の導入を含めた各施設の計画、設計の検討
- ・ 公共施設の移転又は建替え等
- ・ 公共施設の再編に関する検討プロセスへの地域住民参加の促進
- ・ 公共サービス運営に関する地域や民間事業者の参画仕組みづくり

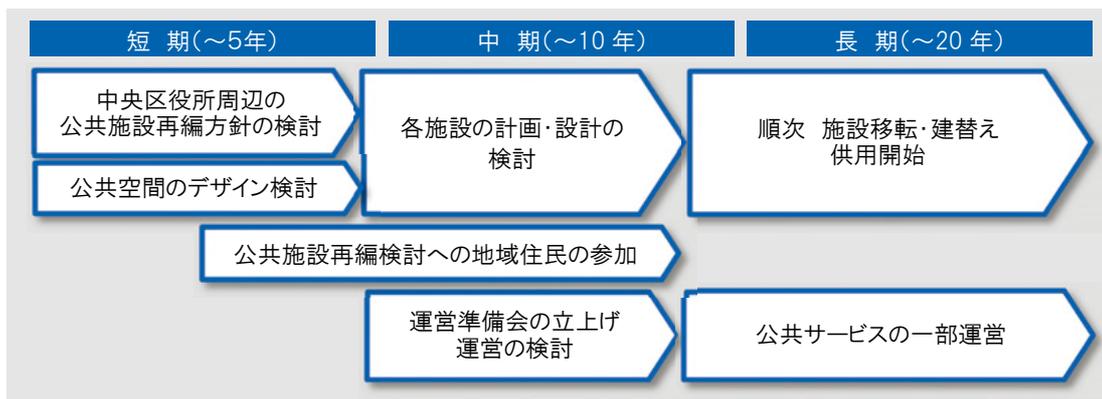
【地域住民の役割】

- ・ 公共施設の再編に関する検討プロセスへの参加
- ・ 公共サービスの一部維持管理と運営
- ・ オープンスペースを生かした地域住民交流イベント等の企画と運営

【民間事業者の役割】

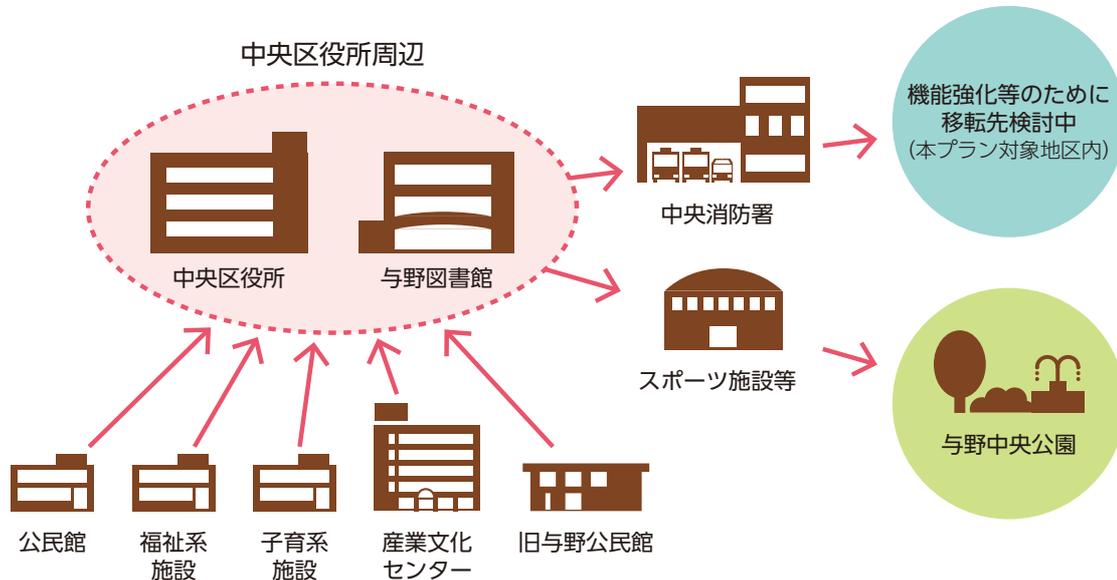
- ・ 公共サービスの一部維持管理と運営
- ・ 店舗等の配置と運営

■プロジェクト①の施策の展開イメージ



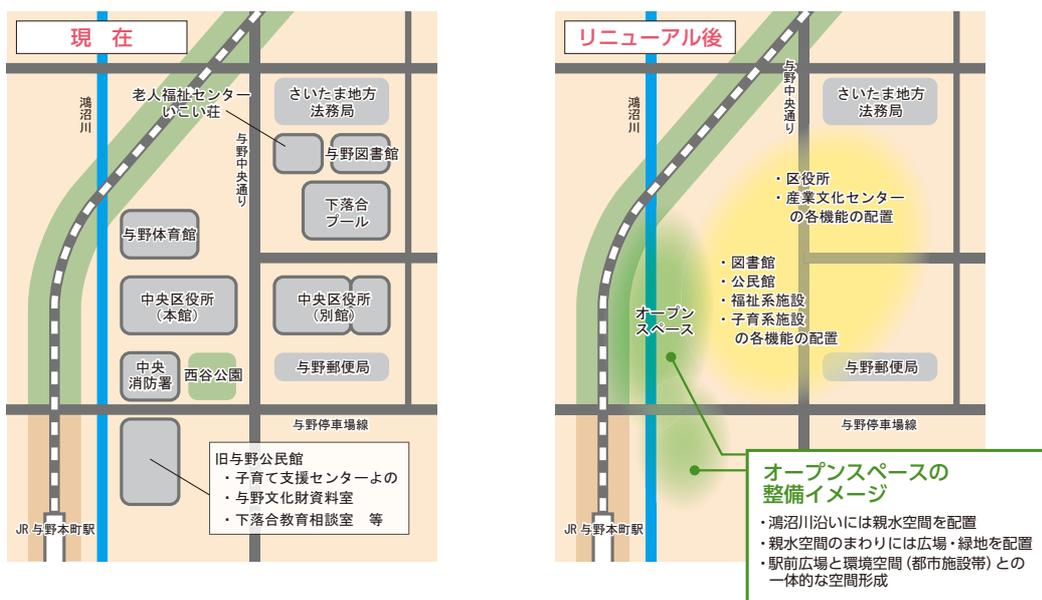
■ 公共施設の再編イメージ

【機能の集約イメージ】



【配置の考え方】

- 中央区のまちの顔づくりと市民サービスの向上につながる公共施設の再編
- 移転する公共施設敷地の効果的な活用
 - ⇒ 連鎖型公共施設再編の推進
 - ⇒ 鴻沼川の水辺空間と一体になった空間のリニューアル
- 鴻沼川の水辺空間、与野本町駅、環境空間（都市施設帯）のネットワーク
- 多世代や地区内外の人々の交流につながる場の創出



プロジェクト② 与野中央公園整備によるみどり拠点の強化

与野中央公園は与野本町駅からの徒歩圏に位置した、約8.1ヘクタールの面積を有する総合公園として計画しています。現在は用地買収を進めながら、与野中央通り線沿いの一部区画で供用を開始しています。

みどりと水辺が豊かな、居心地の良い空間の創造とともに、広場及び複合スポーツ施設等を配置し、地区内外から多くの人々が訪れ交流できる場となる公園を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 多様な活動の舞台となる広場とみどりの整備推進

- ・多世代交流や学校教育、地域の環境教育、芸術劇場と連携した活動など、地域活動の舞台となる広場とみどりを整備します。

<施策例>

スポーツ・自由な遊び・休息・イベント・交流などの様々な活動ができる複数の広場の整備、子育て世帯や高齢者が利用しやすい休憩施設の配置、高沼用水路等の水や樹林地のみどり等を生かした郷土の自然と調和した空間デザイン 等

◆ 複合スポーツ施設等の整備検討

- ・複合スポーツ施設等の整備に向けて検討します。
- ・複合スポーツ施設等の整備に併せて、防災機能の強化を図ります。

<施策例>

与野体育館等の既存スポーツ施設の複合化、公園を活用した治水対策(調節池等)、備蓄倉庫や耐震性貯水槽等を備えた避難所の形成 等

◆ 地域による公園管理・運営の参画に向けた検討

- ・地域住民や事業者が、役割に応じて適切に公園管理・運営に参画できる仕組みの実現を目指します。

<施策例>

地域住民が主体となったイベントの開催、アダプト制度を活用した地域住民等による積極的な公園美化活動 等

(2) 各主体の役割

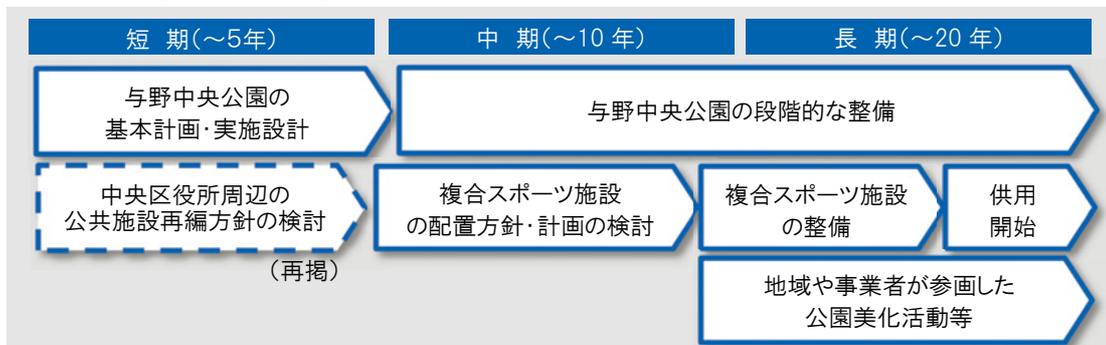
【市の役割】

- ・与野中央公園の基本計画や実施設計の策定
- ・与野中央公園の段階的な整備
- ・複合スポーツ施設の配置方針及び計画の策定
- ・複合スポーツ施設の整備
- ・検討プロセスへの地域住民参加の促進
- ・地域や事業者が参画できる公園管理、運営の仕組みづくり

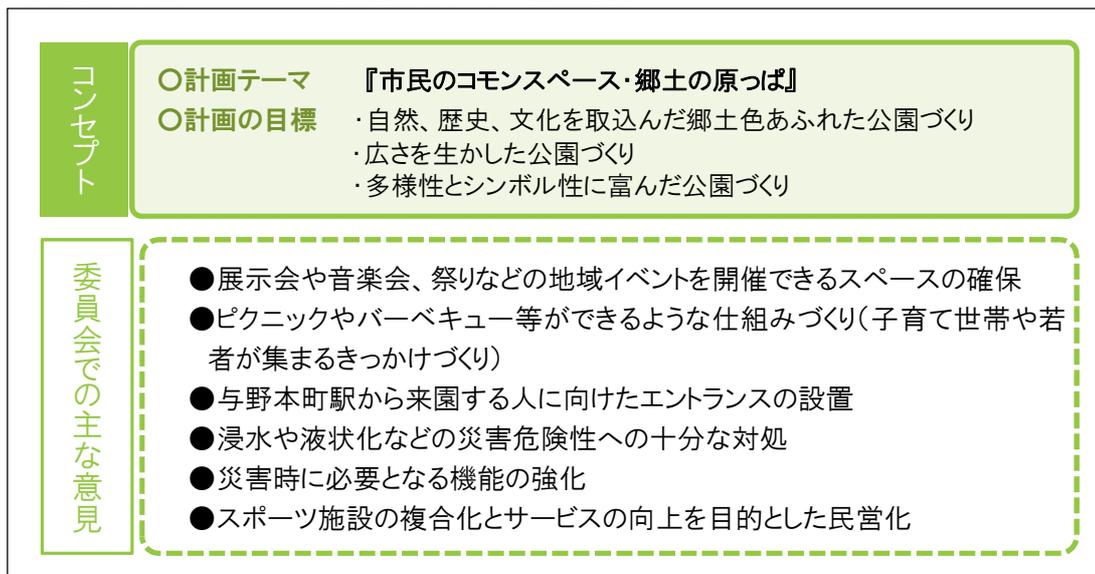
【地域住民等の役割】

- ・与野中央公園の整備に向けた検討プロセスへの参加
- ・広場等を生かした住民交流イベント等の企画と運営
- ・公園美化活動への参画

■プロジェクト②の施策の展開イメージ



■与野中央公園のコンセプトと策定委員会からの主な意見



プロジェクト③ 与野本町駅周辺の利便性の向上

与野本町駅は JR 埼京線の快速停車駅であり、多くの地域住民が通勤・通学で利用しています。また、芸術劇場への来場者など、地区外の人々が訪れる地区の玄関口にもなっています。

そこで、与野本町駅周辺の施設及び空間の利便性を高めるとともに、レンガとみどりを基調とした駅前広場の景観や滞留空間の質を維持・充実することにより、魅力ある“まちの顔づくり”、地区内外の人々が行き交う“にぎわいづくり”を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 駐輪・駐車場の利便性の改善

- ・駐輪場の拡充に向けて調査及び検討します。
- ・バス等の公共交通や一般車等による送迎の利便性向上に関して調査及び検討します。
- ・コミュニティサイクルの利便性向上や、超小型モビリティなど新しい交通手段への対応について検討します。

<施策例>

駐輪場の増設の調査及び検討、駐輪場の民営化等の検討、
一般車両の乗降バースの確保等の検討 等

◆ 交通安全性の改善

- ・歩行者の安全性向上に向けて調査及び検討します。

<施策例>

駅前広場における歩行者動線の検討、駅と主要施設を結ぶ道路のバリアフリー化の検討、
駅前広場にアクセスする歩行空間の改善に向けた調査及び検討 等

◆ 駅前の景観づくり

- ・駅前の景観を魅力的にする公共空間のデザインを検討します。

<施策例>

景観形成に関するルール及び駅前広場のデザインガイドライン等の作成、
市営駐輪場の景観の改善、バラをモチーフにしたデザインの検討 等

◆ 滞留空間の改善とにぎわいづくり

- ・ベンチなどの休憩施設が利用しやすくなるよう滞留空間の改善を検討します。
- ・鉄道高架下の店舗や施設等と駅前広場の一体的な利用を目指します。

<施策例>

快適な滞留空間の利用を考慮した休憩施設等の設置、植栽の適切な維持管理、
駅前広場や駅前公園等の一部民間利用を可能とする仕組みづくり（オープンカフェ等）、
高架下への店舗の誘致、芸術劇場と連携した PR 活動やイベントの実施 等

(2) 各主体の役割

【市の役割】

- ・ 駅周辺の現況調査と課題整理
- ・ 駅前広場等の再整備計画の検討
- ・ 再整備計画に基づく施策の実施
- ・ 景観形成のルールやガイドライン等の作成
- ・ 検討プロセスへの地域住民参加の促進
- ・ 関係する事業者等との調整

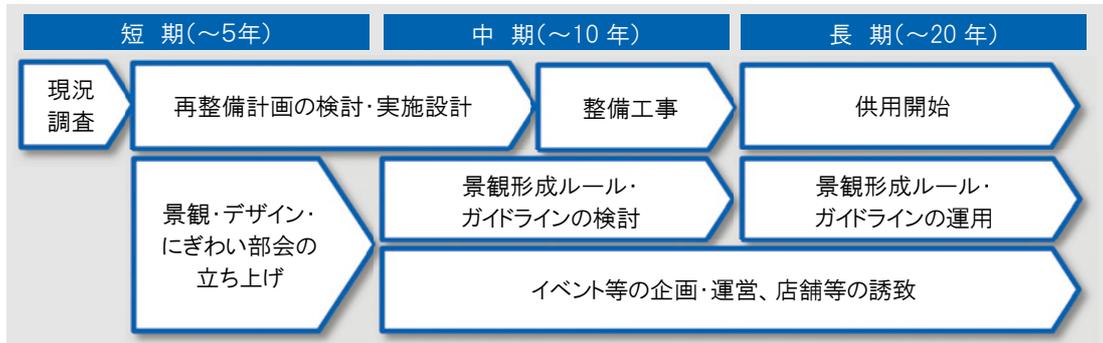
【地域住民の役割】

- ・ 駅前の再整備に関する検討プロセスへの参加
- ・ 景観形成のルールやガイドライン等の作成に関する検討プロセスへの参加
- ・ 高架下空間への店舗誘致に関する検討プロセスへの参加
- ・ 駅前広場等のオープンスペースを生かしたイベント等の企画・運営

【民間事業者の役割】

- ・ 駅前の再整備に関する駅施設や高架下空間の使い方の見直し
- ・ 駅前の再整備に向けた交通事業者の協力
- ・ 景観形成のルールやガイドライン等の作成に関する検討プロセスへの参加
- ・ 高架下空間への店舗誘致に関する検討プロセスへの参加

■プロジェクト③の施策の展開イメージ



■駅前広場の現状

<p><駐輪・駐車場の利便性></p>  <p>駅周辺の駐輪場は多くの方々に利用されています。</p>	<p><交通の安全性></p>  <p>歩行者と自転車の通行が混在しています。</p>
<p><駅前の景観></p>  <p>高架下の空間、駅前広場及び駅前公園が調和するよう、景観に配慮する必要があります。</p>	<p><滞留空間とにぎわい></p>  <p>駅前公園の利用を促進させる必要があります。</p>

リーディングプロジェクト2 与野本町小学校と周辺公共施設との複合化

このプロジェクトが目指すこと

与野本町小学校の北校舎等の建替えに当たっては、今後もワークショップ等の開催を通じて、住民と行政が知恵を出し合い、与野本町駅周辺地区にふさわしい施設整備を進めます。

北校舎の建替えと併せて周辺の教育関連施設や子育て支援施設等との複合化を図ることで、児童以外の住民も含めた多様な教育の場とするとともに、住民が交流できる地域コミュニティの場の形成、防災機能の強化を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 教育関連施設や子育て支援施設等との複合化

- ・与野本町小学校と周辺の既存施設との複合化を進めます。
- ・複合施設の建替えに当たっては、屋上及び壁面緑化を検討します。
- ・複合化により生まれる跡地等の活用方法を検討します。

<施策例>

与野文化財資料室（展示部分）、子育て支援センターよの及び与野本町小学校地域交流室との複合化、移転跡地等の公的不動産としての有効活用、PPP手法の導入 等

◆ 地域参画による施設運営

- ・公共施設の再編や施設運営に向けた検討プロセスに地域住民が継続して参画します。

<施策例>

公共施設の再編をテーマにしたワークショップや協議会の開催、
公共施設の再編に向けた検討プロセスへの地域住民の参加、
公共施設の維持管理や運営への地域住民の参加 等

◆ 災害時の避難所機能等の強化

- ・災害に備えた備蓄等の充実と避難者の受け入れ体制の強化を図ります。
- ・大雨時に鴻沼川へ流入する雨水量の低減を図ります。

<施策例>

食料や生活防災敷材などの備蓄の充実、避難所に必要なスペースの確保、
雨水流出抑制施設の整備 等

(2) 各主体の役割

【市の役割】

- ・ 公共施設の複合化計画等の検討、公共施設移転や複合施設の整備
- ・ 検討プロセスへの地域住民参加の促進
- ・ 地域や民間事業者が担う公共サービスの仕組みづくり（ガイドラインの作成）

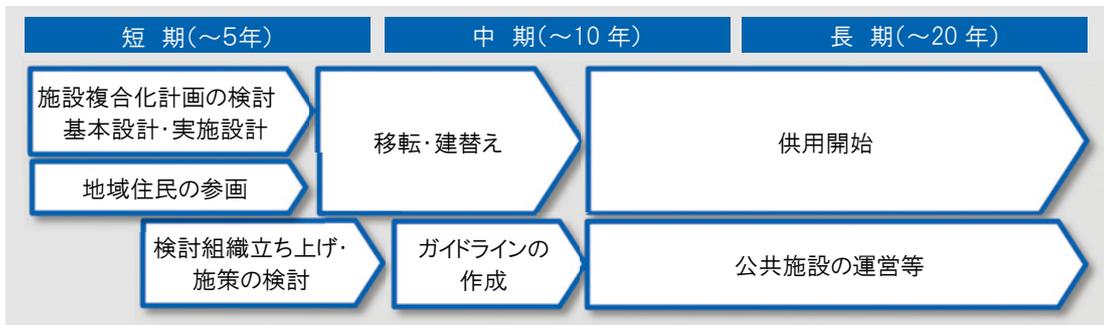
【地域住民の役割】

- ・ 公共施設の複合化計画や運営手法に向けた検討プロセスへの参加
- ・ 公共サービスの一部運営等
- ・ 住民交流イベント等の企画と運営

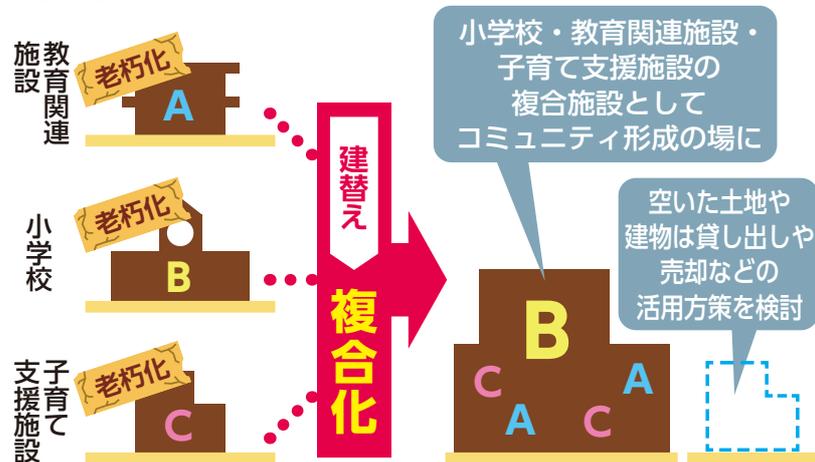
【民間事業者の役割】

- ・ 公共サービスの一部運営等

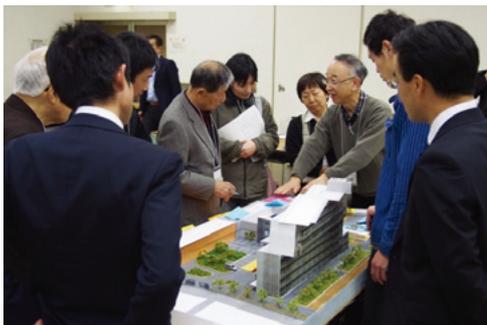
■リーディングプロジェクト2の施策の展開イメージ



■複合化のイメージ



■複合化に関するワークショップの様子(平成26年度開催)



リーディングプロジェクト3 歴史を伝える本町通りのまちづくり

このプロジェクトが目指すこと

江戸時代の市場としての名残等から、本町通りの沿道には未活用の空間が存在しています。この空間を活用していく仕組みをつくり、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、街並みルールづくりを進め、歴史のまちとしての魅力やにぎわいを創出しながら将来の都市計画道路としての整備につなげていくことを目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 本町通りの歴史や魅力の保全・形成

- ・地域住民自らが、本町通りの歴史や魅力について学ぶことができる機会を充実させます。
- ・歴史に配慮した街並みづくりに向けて検討します。
- ・まちの歴史を伝える建築物等を保存・活用します。

<施策例>

小中学校の授業で地域の歴史を学ぶ機会を充実、
歴史資料を保存する与野文化財資料室の活用と展示資料の充実、
沿道建物のデザインや敷地の使い方に関するルールづくりに向けた勉強会等の開催、
本町通りの蔵造り住宅や古民家等の保全、歴史的な建物や敷地を活用したイベントの開催

◆ 安心して歩ける環境の形成

- ・歩行者や自転車の交通安全性の確保に努めます。
- ・本町通りの沿道空間を生かしてまちの回遊性を向上させます。

<施策例>

現民有地を含めた都市計画道路区域内の歩行空間利用、ポストコーン等の設置、
市場の名残の沿道空間等を生かしたプランターやベンチ等の休憩施設の配置、
都市計画道路としての事業化の検討 等

◆ 地区外の人々への情報発信

- ・地区外の人々を呼び込むイベント等の開催を進めます。
- ・事業者等を呼び込むための環境づくりと情報発信に努めます。

<施策例>

芸術劇場と連携したイベントや祭りなどの伝統行事の開催、オープンガーデンの実施、
散策者向けの案内板の設置、本町通りの紹介冊子の配布、飲食店の割引クーポンの配布、
沿道の中古物件（空き店舗含む、以下同じ）のリノベーション支援の検討、
地元まちづくり組織における中古物件の紹介、各種施策における与野の地名のPR

(2) 各主体の役割

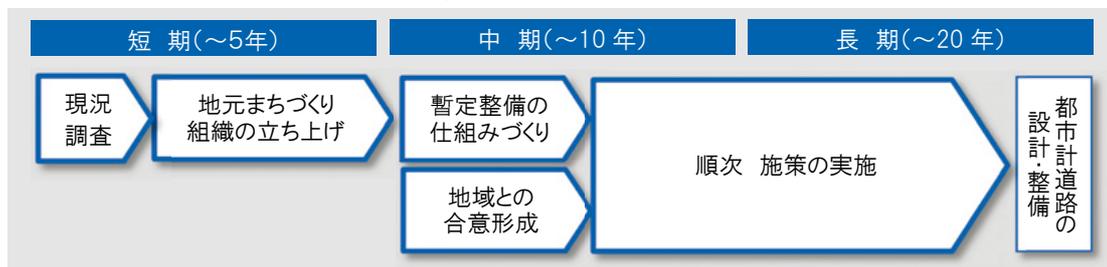
【市の役割】

- ・ 地域主体のまちづくり活動への支援
- ・ 暫定整備計画の検討
- ・ 地域主体のまちづくりと連携した施策の実施
- ・ 都市計画道路の整備に向けた検討

【地域住民・民間事業者の役割】

- ・ 地元まちづくり組織の立ち上げ
- ・ 地元まちづくり組織による現況や課題の共有
- ・ 地元まちづくり組織による施策の検討

■リーディングプロジェクト3の施策の展開イメージ



■沿道空間の活用イメージ



本町通りを都市計画道路として整備するまでの間、歩行者の回遊性や安全性の向上等を図るため、沿道空間（市場の名残の前庭のような空間や道路用地となる土地）を活用してまちづくりを進めます。

実現に向けては、今後地域住民と行政で話し合いながら検討していきます。

Column 与野本町駅周辺地区のまめ知識

その3 大正初期の本町通り

明治から昭和の初めにかけての本町通りは桜並木が美しく、満開の季節には花のトンネルとなり、遠方からも花見の客が訪れていました。

その美しさは、柳田国男が「桜並木の最も美しきは埼玉県与野町なり」と褒めるほどでした。



資料：與野みやげ絵葉書

リーディングプロジェクト4 芸術劇場と地域が連携したまちづくり

このプロジェクトが目指すこと

県内でも有数の文化芸術の拠点である芸術劇場と地域が連携したまちづくりを進め、芸術のまちとしてのイメージアップを図るとともに、地区内外から多くの人々が訪れ、交流できる場の形成を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 芸術劇場と地域とのつながりの強化

- ・地域が芸術劇場の活動を知る機会を充実させます。
- ・芸術劇場と地域、小中学校が連携したイベントを充実させます。

<施策例>

芸術劇場見学会等の開催、劇場スタッフによる出前講座の開催、本町通りの祭りなどの地域イベントとの連携強化、地元小中学校や地域住民が芸術活動の場として芸術劇場を活用、芸術劇場の敷地を活用したフリーマーケット等の開催 等

◆ 地区外から人々を呼び込む強化

- ・与野本町駅と芸術劇場を結ぶ空間を充実させます。
- ・駅前広場等で芸術活動のPRを強化します。
- ・JR 埼京線沿線で芸術劇場の周知を進めます。

<施策例>

アートストリートエリアと連動したたつみ通り沿道の街並みづくり、駅構内等に芸術劇場のサテライト施設配置の検討、与野本町駅やさいたま新都心駅のコンコース等でのポスター等によるPR、オリジナルグッズの開発、地域住民の意向を踏まえた施設名（愛称）の検討、車両アナウンスや駅構内の看板による周知 等

◆ 地域全体を舞台にした活動の展開

- ・芸術劇場と地区拠点等との連携を強化します。

<施策例>

駅前広場や与野中央公園などのオープンスペースを舞台にしたイベントの開催、駅周辺の店舗と連携したアート企画 等

(2) 各主体の役割

【市の役割】

- ・関係者との協議及び調整
- ・まちづくり活動と連携した施策の推進

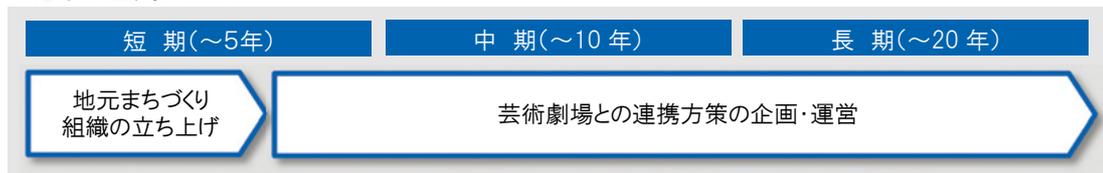
【芸術劇場の役割】

- ・地域と連携した活動の実施
- ・地域と連携したイベントの情報発信（PR）
- ・地区拠点と連携したイベントの開催
- ・地区全体を舞台にしたイベントの主導

【地域住民・民間事業者の役割】

- ・芸術劇場と連携したまちづくり活動の実施
- ・芸術劇場との話し合いの場への参加

■ 施策の展開イメージ



■ 芸術劇場と地域の連携イメージ



リーディングプロジェクト5 住環境を維持・改善するまちづくり

このプロジェクトが目指すこと

防災や景観などの身近な住環境に関する課題を解決していくことにより、住民が“ずっと住み続けたい”と感じるような、また地区外から転居を考える人々からは“ここに住みたい”と感じるような魅力的な住宅地を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 地区の現状や課題、まちづくりについて学ぶ機会を充実

- ・地区の現状を学ぶ機会を充実させます。
- ・地域住民自らが身近な住環境に関する課題を抽出し、まちづくりの施策を考える場をつくります。

<施策例>

本プランやハザードマップ等の周知、地区の現状や課題を共有する勉強会の開催、今後のまちづくりの施策を考えるセミナーやワークショップ等の開催 等

◆ 良好な景観形成に向けたまちのルールづくり

- ・地区の課題に応じたルールづくりに向けて、地域住民とともに検討します。
- ・地域住民との合意形成を図り、都市計画制度等の活用を視野に課題の解決を目指します。

<施策例>

地区計画等の導入による建築物の用途や高さの規制、景観協定等を視野にした建築物や構造物の色彩・デザインのルールづくり 等

◆ 安全・安心な住宅地の形成

- ・災害等の危険性に応じて、必要な施策を地域とともに進めます。

<施策例>

準防火地域の指定、民間の敷地内への雨水浸透施設等の設置、浸水リスクを踏まえた土地利用地域単位での防災訓練の実施、消防水利の充実、避難路・狭あい道路の改善、犯罪防止に配慮した街並みづくりや道路・公園等の改善 等

(2) 各主体の役割

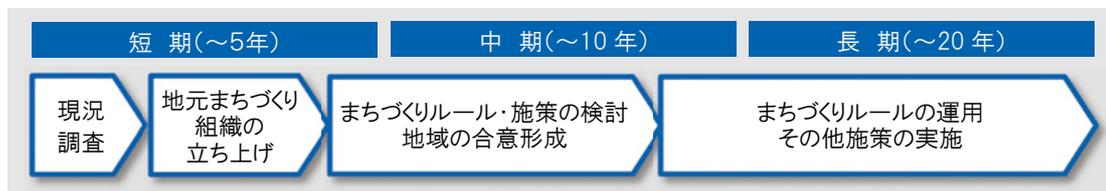
【市の役割】

- ・ 地域主体のまちづくり活動の仕組みづくりと支援
- ・ 地域主体のまちづくりと連携した道路等の改善
- ・ まちづくりルールの策定に向けた支援
- ・ 地域の意向を踏まえた都市計画制度の導入

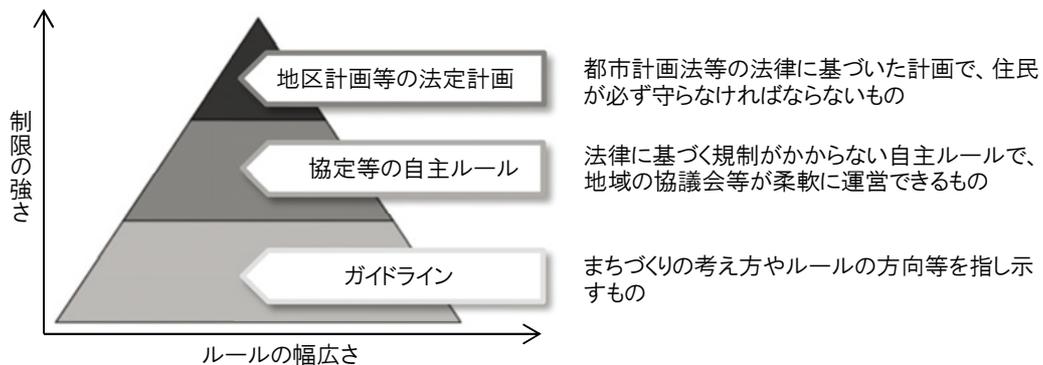
【地域住民・民間事業者の役割】

- ・ 地元まちづくり組織の立ち上げ
- ・ 現状や課題の共有と地域主体の具体的な施策の検討や合意形成
- ・ まちづくりルールの運用や遵守
- ・ その他具合的な施策の実施

■ 施策の展開イメージ



■ まちづくりルールの種類



■ 魅力的な戸建住宅地のイメージ



左図は、地域住民が主体となり、建築物の高さや壁面の色彩、生垣等に関するルールを設け、建替え時にそのルールを守って魅力的な住宅地を実現したイメージです。

リーディングプロジェクト6 安心して歩けるみちづくり

このプロジェクトが目指すこと

安心して歩ける生活道路や散策路を整備して、拠点間の歩行者ネットワークを形成することにより、子育て世代や高齢者が健康的に歩いて暮らせる住環境の形成を目指します。

(1) 施策の方向性

◆ 多くの人々が利用する道路の交通安全性を向上

- ・交通ルールや正しい交通マナーの啓発を進めます。
- ・駅や学校など、多くの人々が利用する施設の周辺に位置した生活道路では、歩行者を優先し、自動車の交通の抑制等の検討を進めます。
- ・交通事故の多い幹線道路や生活道路における交通安全性の改善を進めます。

<施策例>

道路の現状を学ぶ場の開催、幼稚園や学校等での交通安全教育、
交通教育指導員による出前講習会、
駅周辺の生活道路における朝夕の自動車交通の抑制、交通規制の検討、交差点や舗装の改良、
カーブミラー等の交通安全施設の設置、
交通事故の多い道路における交差点や舗装の改良、
地域の意向を踏まえた歩行者の安全性向上に向けたソフト施策の推進（ゾーン30等）、
隅切り設置の促進等に向けた検討 等

◆ 環境空間や川沿い等の地域資源を生かした散策路の改善

- ・水辺に沿った歩行空間の改善と整備を進めます。
- ・環境空間（都市施設帯）等の歩行空間における快適性を向上させます。
- ・拠点を結ぶ主要な生活道路の改善を進めます。

<施策例>

鴻沼川沿いの歩行空間の改善、高沼用水路の整備、
環境空間（都市施設帯）等に街路樹や休憩施設の設置、
アートのストリート延伸を視野に入れた芸術の散策路の整備、
拠点を結ぶ身近な散策路における歩行者優先の舗装 等

(2) 各主体の役割

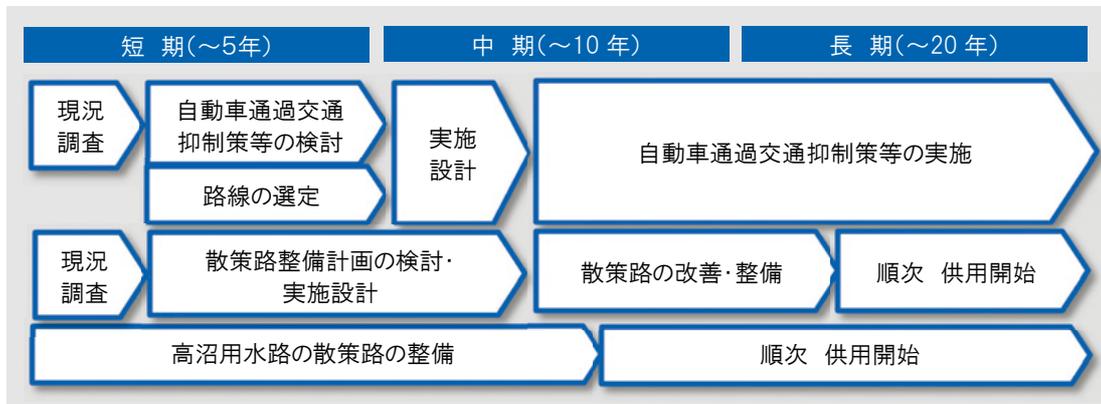
【市の役割】

- ・自動車の通過交通抑制策等の実施
- ・散策路整備計画の検討
- ・散策路の整備
- ・地域主体のまちづくり活動の仕組みづくりと支援
- ・地域主体のまちづくりと連携した施策

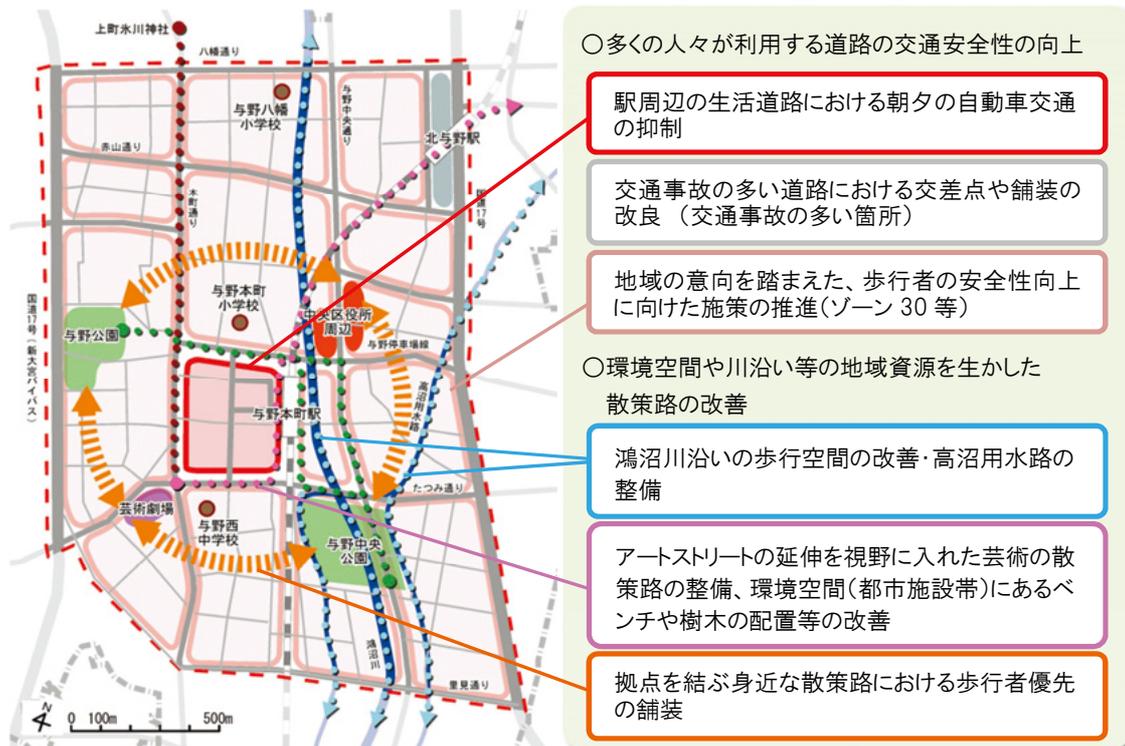
【地域住民・民間事業者の役割】

- ・地元まちづくり組織の立ち上げ
- ・現況や課題の共有と地域主体の具合的な施策の検討や合意形成
- ・具合的な施策の実施

■ 施策の展開イメージ



■ リーディングプロジェクト6の主な施策例



Column 与野本町駅周辺地区のまめ知識

その4 下落合環境空間緑道

「下落合環境空間緑道」は、与野本町駅前から北与野駅までを結ぶ、約 1.5 kmの花と緑あふれる緑道です。



■位置図



なお、与野本町駅西口の部分については、2001年度土木学会デザイン賞優秀賞を受賞しています。